

実施中の疫学研究について

千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学

千葉大学に提供・保管された骨標本を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

1. 研究代表者	鈴木崇根
2. 研究課題名	救急領域における救命処置実施部位（輸液路確保のための骨髄穿刺部位および胸骨圧迫位置）の解剖学的検討
3. 研究の概要	<p>心肺停止患者において重要な救命手技である胸骨圧迫は近年のガイドライン改定で胸骨圧迫部位の同定方法を変更しているが、この変更は解剖学的検討を経た訳ではなく、解剖学的矛盾を含んでいます。</p> <p>また、心肺停止患者で有効とされる骨髄穿刺は、やはり解剖学的検討を経ずに多くの変法が派生しており、その一部は解剖学的矛盾を含んでいます。</p> <p>さらに、これらの手技は白人の骨格を基準としているため、日本人骨格において最も安全な手技実施部位を解剖学的に明らかとする目的で千葉大学に保管されている骨標本を用いて解剖学的計測を行うものです。</p>
（個人情報利用の目的）	<p>データ上はすべての骨標本は匿名化（任意の識別番号）されており、プライバシーに関する情報が外部に漏れることはありません。</p> <p>研究期間：倫理審査承認日より3年間 遺伝子（ゲノム）解析は行いません。</p>
使用する情報	本研究対象は千葉大学へ提供された骨標本です。本研究では研究対象となる骨標本の性別および年齢、計測した一部の骨の長さ、幅等のデータのみ使用します。
使用する検体	検体名（骨標本）

①この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会において厳重に審査され、承認されています。個人情報の保護については、万全の体制下にて管理されます。

②ご遺骨の関係者で、具体的な研究内容を知りたい、あるいは今回の研究に用いることに拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

お問い合わせ（郵送でお願いします）

千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学 受付

住所：〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1